

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校PCB混入電気機器改修事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	03	63
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	平成39年度までに全てのPCB廃棄物を処分するため。
事業内容	PCB廃棄物を処分する。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度から高圧トランス、コンデンサを更新するたびに、含有量の検査を行った。 規定値を超えているものはキュービクル内又は金属製の箱に保管する。 平成29年度に処分が完了した。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	低濃度PCB保管校	4	1	0	校	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果		PCB廃棄物を適正に処理することにより、学校関係者の安全を確保する。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年度に処分が完了した。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,872,309	873,228			
事業費(b)(円)			1,185,809	671,868			
うち一般財源			1,185,809	671,868			
職員給与費(c)(円)			686,500	201,360			
人役・職員(人)			0.10	0.03			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると思われる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	処分受入先に制限があるため、計画的に行っていく。	③取組の課題	特になし
②今年度(H29)に実施した取組	受入先の制限に応じて、計画的に搬出処分し、事業が完了した。	④今後(H30以降)の改善計画	特になし